



報道関係者各位

2015年8月27日
学生団体WorldFut
アルビレックス新潟蒲添
国際協力機構（JICA）カンボジア事務所

＝プレスリリース＝

ワールドカップ予選 日本対カンボジア戦 カンボジアの農村でサッカーのパブリックビューイングを実施

2018年FIFAワールドカップ・アジア2次予選では、日本とカンボジアが対戦します。9月3日（木）の日本での試合をカンボジアの子どもたちに見てもらうため、日本の学生団体「WorldFut」とカンボジアでサッカーの普及、スポーツの振興を目的として活動をしている「アルビレックス新潟蒲添」の主催、国際協力機構（JICA）の後援で、プレイベン州スマオン村にてパブリックビューイングが開催されます。機器接続は、アフリカのサッカーパブリックビューイングの実績を持つ株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所がサポートします。

カンボジア国内の電化率は28.6%(*1)と言われており、スマオン村(*2)でも、テレビを通じてサッカーの試合を見ることができない子ども達があります。そんな子ども達の為に、「サッカーの感動」を届けたいと考え、本プロジェクトが立ち上がりました。

翌9月4日には、同村の子どもたちに対し、体育ワークショップやサッカークリニックが開催される予定です。講師は、NPO ハートオブゴールドやアルビレックス新潟蒲添のスタッフやプロのサッカー選手達です。カンボジアで活動するJICAの青年海外協力隊員も協力します。

**「カンボジアの農村からサッカー選手を輩出したい！
サッカーの感動を、大画面で子どもたちに届けるプロジェクト！」**

主催：学生団体WorldFut、アルビレックス新潟蒲添

後援：国際協力機構（JICA）

協力：特定非営利活動法人ハートオブゴールド

技術協力：株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所

場所：プレイベン州スマオン村（蒲添から車で2時間程度）

スケジュール：

9月3日（木） 17時30分～ パブリックビューイング

村の小中学生とその家族を対象に、スマオン小学校で試合を生中継。

9月4日（金） 8時～ NPO ハートオブゴールドによる体育ワークショップ

当地に伝わる動きにオリジナルキャラクターをコラボさせた「クメール体操」の実演と、サッカーの動きを学ぶ小学生向け体育の模擬授業を実施。

10時～ アルビレックス新潟蒲添によるサッカークリニック

サッカー選手やスタッフによる小学生向けサッカー学校を開催。

(※1)参照：一般社団法人海外電力調査会の 2011 年のデータ

(※2)学生団体 WorldFut が 7 年間継続的にサッカーを通じたサポートを実施してきた村。

【団体紹介】

- ・学生団体 WorldFut

<http://www.worldfut.com/>

- ・アルビレックス新潟フロンペン（運営団体は ALBIREX (CAMBODIA) CO., LTD)

<http://www.albirex-phnompenh.com/ja/>

- ・特定非営利活動法人ハートオブゴールド

「スポーツを通じた開発」を目指して活動中。本部は岡山県。代表理事はオリンピックメダリストの有森裕子さん。カンボジアでは JICA の草の根技術協力事業にて、教育省向け体育支援事業を実施。省自らが指導要領および指導書の制作活動を行えるように支援を展開し、カンボジアの建国以来初となる「小学校保健体育科指導要領」と、「小学校保健体育科指導書」最終案を完成に導いた。<http://www.hofg.org/>



本件についての連絡先：

学生団体WorldFut 朝倉 悠

Email : worldfut@gmail.com /TEL : +855-(0)80-6916-7733

アルビレックス新潟フロンペン 青木

Email : aoki@albirex-phnompenh.com / TEL : +855-(0)10-256-748

JICA カンボジア事務所広報班 戸倉、小川

Email: Tokura.Yuko@jica.go.jp, OgawaNoriko.CM@jica.go.jp, /TEL: +855-(0)23-211-673

所在地：6th, 7th, 8th Floors, Building #61-64, PreahNorodom Blvd, Phnom Penh, Cambodia